



ぴっころ

～子育て支援センターには楽しいことがいっぱい～

※揖斐川子育て支援センターは、子育て中のお父さん、お母さん、妊婦さん、おじいさん、おばあさんどなたでも利用できる場所です。気軽にお出かけください。

- ◇通信ピッコロを中旬に発行しています。
図書館・公民館・保健センター・役場・振興事務所などに置いてあります。
- ◇ホームページ
揖斐川町 <https://www.town.ibigawa.lg.jp>
揖斐幼稚園 <http://www.ibi-youchien.ed.jp>

揖斐川子育て支援センター

揖斐川町上南方 193 Tel.23-1136
開館日 月曜日～金曜日・第3土曜日
9:00～16:00

◎揖斐幼稚園の開放日

11月16日(水)
直接幼稚園へ申込みください。
Tel.22-6008 (当日可)

11月の活動予定

行事の申込みは、前月第3水曜日より実施日前日まで受付けています。(電話予約不可)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 りんご交流	3 文化の日	4 お散歩会 北方地区	5
6	7 親子体操	8 ひよこ交流	9 英語で遊ぼう 教えてドクター	10 さくらんぼ交流	11 ピアノ演奏会	12
13	14	15 いちご交流	16 出前保育 胨永公民館	17 音楽のひろば ハーモニー	18	19 開館日
20	21	22 子育てと仕事を両立したい方のためのハローワーク	23 勤労感謝の日	24 リコーダー演奏会	25 電車で出かけよう	26
27	28	29 お話ルーム 誕生会	30 お散歩会 横蔵			

◎育児相談は毎日、子育て支援センターで直接受け付けています。

◎コロナ感染状況によっては、行事など中止になることがありますので、事前にお問い合わせください。

子育て支援センターは、子どもに関する(0～18歳未満)あらゆる相談窓口です。
一人で悩まないで気軽にご相談ください。



一度自己表現の手段が見つかる、子ども達の表現力は一段と向上し、それが豊かな情緒を育みます。年に4回しかない絵画・習字教室はそんな場であるのではないかと思えます。きよみず幼稚園にずっと続いている「絵画・習字教室」を大切にしていきたく思います。

講師の先生は、型にはまらない子ども達の自由な発想を大切にしてください。子ども達も指導員をとても楽しみにしています。先生は子ども達の様子を見て回り、子どもの書いた絵や文字を「伸び伸びと書いてね」「大きく描いているね」などと褒めてくれます。その言葉を聞いて、子ども達も自信を持って自分の思いを文字や形に表していきます。また、先生のお手本を見て「たのしそう」「かいてみたい」という想いが引き出され、どんどん挑戦していきます。自由に書いている中でも、筆の正しい持ち方や扱い方、技法などを少しずつ習得しているようです。無理なく楽しく教えてもらい、いつも気が付くと終了の時間になっています。

きよみず幼稚園では、地域の方を講師に迎えて年長児が年4回「絵画・習字教室」で指導を受けています。

～きよみず幼稚園～

「絵画・習字教室は楽しいよー！」
「きよみず幼稚園キッズ！」

揖斐川町は、住民の皆さんの子育てを応援しています。

♪親子体操♪ ～ママと一緒に た・の・し・い・な～

初めての“親子体操”では歩く、ジャンプなどの動きがあり、笑顔で楽しむ子ども達の姿や、バランスボールを使ってストレッチをしたり、普段あまり使わない筋肉を動かしたりして、とても気持ちよさそうなママ達の姿がありました。また、ママに身を任せてボールの上に寝転んだりジャンプをしたり、ちょっとドキドキしながら親子で体を動かす楽しさを味わえたようです。広いホールをいっぱい使ったサーキット遊びでは、子ども達は嬉しそうに何度も繰り返し楽しんでいました。

今回は11月に予定しています。皆さんの参加をお待ちしています。



▶ 子育てちゃんねる

泣くことは子どもの表現のひとつ ～その思いを「言葉」として受け止めて～



思いを言葉で表現できない0, 1, 2歳児は「泣く」シーンが多いです。泣き声が響くと慌ててしまいがちですが、泣きに込められた思いはさまざまです。

子どもは泣いている理由（伝えたいこと）をわかってほしいのです。言葉にならない気持ちを受け止めてあげましょう。ていねいなやりとりを積み重ねていくことで、自分のことをわかってくれる大人に、自分の思いをもっと伝えようという気持ちが育っていきます。

※年齢別関わりのポイント

- 0歳児・・・生理的な欲求を泣いて訴えるのでタイムリーに受け止めることが基本です。
言葉で言えないだけで多くのことを感じて発信しています。気持ちを代弁し、受け止めてあげましょう。
- 1歳児・・・自我が芽生え、人や場所、物に対するこだわりが強くなってくる年齢です。
安心して過ごせる、満たされる環境を工夫してあげましょう。
- 2歳児・・・他者との関わりから葛藤し、泣いて自分の気持ちを訴えることも出てきます。見通しがもてるような言葉がけや子どもが自分で考えたり、気持ちを表現できるような関わりを大切にしましょう。

子どもが成長していく過程には、さまざまな経験が大切だと思います。その時々の子どもの姿とじっくり向き合いながら見守ってあげたいですね。